

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	大和市西鶴間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター西鶴間会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
西鶴間	160	2,665	63	231	3,119	10.3	304

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

月	事業名	開催期間	参加者数
4	にしつるまじどうかんワクワク見学(児童館の見学・説明)	4/7～4/25	16人
4・5	こどもの日工作(てがたてこいのぼりづくり)	4/25～5/7	14人
5	母の日工作(紙コップのこものいれづくり)	5/6～5/14	7人
6	父の日工作(プラバンのキーホルダーづくり)	6/4～6/18	69人
	避難訓練(運営側のみ)	6/25	
6・7	七夕工作(笹飾りづくり)	6/20～7/7	72人
7	じどうかん縁日(スタンプラリー)	7/2	179人
	安心安全こども映画会	7/25	51人
8	夏休み工作(麦わら帽子のマグネットづくり)	夏休み期間中	27人
	夏休み工作(紙コップで風鈴づくり)		18人
	夏休み工作(アイロンビーズづくり)		64人
	夏休み工作(ばたばたとりづくり)		14人
9	お月見工作(うさみみ帽子のかぶりものづくり)	9/2～9/29	25人
10	ハロウィン工作(かぼちゃのクラッカーづくり)	10/3～10/31	45人
11	秋の工作(うちのタンゴ～ロボットづくり)	11/2～11/28	28人
12	クリスマス工作(ゆきだるまづくり)	12/3～12/24	41人
	クリスマス会(バルーンアート)	12/17	86人
1	千支工作(かわいいドラゴンづくり)	1/5～1/30	25人
	伝承遊び(ふくわらい・あやとり)	1月中	
1・2	節分工作(マラカス鬼づくり)	1/31～2/10	10人
2	ひなまつり工作(なかよしおひなさまづくり)	2/13～2/29	14人

2	避難訓練	2/14	3人
3	ひなまつり映画会	3/2	47人
	春の工作(かざぐるまづくり)	3/5~3/31	22人
	こども卓球教室	3/26	8人

※3ヶ月チャレンジを年間で実施。(4~6月ドミノつみ・7~9月ピンポンリフティング・10~12月なわとび・1~3月すごろく)

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,976,033	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,792,766
	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	166,016
収入計(①)	2,976,033	支出計(②)	2,958,782

収支決算	17,251
------	--------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和5年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行してからの運営について、工作や行事を通して昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果(前年度対比約187%増)になったことについて、高く評価します。 ・子どもたちの意見を聞き、人気の本などを増やしていることは、子どもたちが児童館を継続して利用するだけでなく、児童館の満足度にもつながるため、高く評価します。 ・児童館だよりについては、年に6回作成と、他の児童館と比較すると多い頻度であり、児童館についての情報を数多く発信している点を高く評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・工作は、昨年度とは異なった内容を、毎月実施し、児童の創作意欲の向上と、児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・夏休み工作を4種類実施していることについては、子どもたちが夏休みにどれか一つでも興味を持ち、工作をできるようにと考えられていて、他の児童館にはない特徴であり、高く評価します。 ・今年度から新たに「3ヶ月チャレンジ」を始め、子どもたちにとって有意義な時間となるように企画した点を評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。